



大塚教育

令和8年度 9月号
文京区立大塚小学校
校長 山下 智美
3946-3421

それぞれの立場でできることを

校長 山下 智美

この夏は災害のニュースがたくさん流れました。この度の「令和8年熊本地震」「令和8年8月豪雨被害」により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。1日も早く、穏やかな日常が戻ってきますように・・・と祈るばかりです。

もし自分が被災したらどうするのか、改めて考えました。近頃は、自宅避難も勧められているので、我が家には必要な避難用品があるか確認しました。非常食には期限切れのものが有り、自分の意識の低さを反省しました。その後の千葉県豪雨も衝撃的でした。ハザードマップで自宅の状況は把握していますが、今後は想定外の雨も考えなければいけないと実感しました。つらいニュースが多い中、勇気をもらう話題もありました。高校野球で熊本県代表、有明高校が3試合連続の逆転勝利！「有明旋風」を巻き起こしてくれました。様々な境遇にある多くの人に生きる希望を与えていた高校生たちは、本当にすてきでした。

今年は「災害」について、多くのご家庭が考えたのではないのでしょうか。今後に生かせる対策が生まれているといいなと思います。ちょうど9月1日は文京区の引き渡し訓練です。是非、「もしこれが本当だったら」という気持ちで取り組んでいただき、お子さんとも具体的な避難等の話をしてみてください。学校では9月18日（金）、19日（土）が4年生の防災宿泊体験です。4年生にもしっかり指導をして、有意義な活動にしていきます。また、10月4日（日）午前中に、区や消防署、町会等で準備をしている「避難所総合訓練」があります。避難所の設営訓練は毎年行っていますが、今年は8年に一度の大々的に行うものです。大塚小を避難所として立ち上げる方法、居住スペースの設営、起震車体験や炊き出し訓練など、実践的なことが学べる機会です。こちらも是非、ご家族で参加していただき、自宅避難が困難な場合はどんな避難所で生活するのかを知ってください。また、避難所設営に関われる方が増えると、地域ぐるみで困難を乗り越えられるようになり、「共助」の力が強くなります。

夏休みに楽しい思い出をたくさんつくったり、よい経験を重ねたりできたお子さんも多かったことと思います。そこで得たエネルギーを2学期の学校生活にも生かしてください。私たち教職員も、お子さんの成長をしっかり見守っていきます。保護者の皆様、地域の皆様のご協力も欠かせません。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

<大塚の窓>

1年担任 新井 美穂・宇佐美 南

初めての夏休み、1年生の皆さんは、どのように過ごしたでしょうか。学校には、久しぶりに元気な子どもたちの声が戻ってきました。「おはようございます！」と、しっかりとあいさつする姿に、1学期からの成長を感じました。さあ2学期の始まりです。2学期は、学校生活にも慣れてきて、学習に遊びに友達と関わる場面もぐんと増えていく時期です。ときにはすれ違いやけんかもあるかもしれませんが、それも大切な成長の一歩だと考えます。子どもたちが「自分の思いを伝えること」、「相手の気持ちを考えること」を少しずつ学んでいけるよう、毎日の積み重ねを大切にしていきたいと思っています。2学期も、子どもたち一人一人のペースを大事にしながら、楽しく過ごしていけるよう努めてまいります。どうぞ引き続き、ご家庭でのあたたかい見守りをよろしくお願いいたします。